

7/10

両常任委員会合同で町内所管事務調査を行いました。町内各所を回り、各担当課職員の説明を受けながら現地を確認しました。主なものを紹介します。

■ 地域おこし協力隊

四季の里 宮井康平さん奮闘記



四季の里で宮井さんのこれまでの活動報告を聞きました。「四季の里だより」の毎月発行や各種教室などの催しを通じ、町民にも顔を覚えられているようでご活躍中でした。

特産品の開発は、現在のところ残念ながら商品化には至っていません。「米・こっこ」さんが現在、製造販売するシフォンケーキをアレンジした「ケーキサレ（塩ケーキ）」を開発中との

こと。

昨年から再開した花かいどうでの販売会は、今年は8〜10月の第2・4土曜日に開催するそうです。

また、地域おこし協力隊員に全道ネットワークがあることに驚かされました。さらに、全道大会を本町で開催するという驚きのプランもあるようです。

今後も地元住民とも協力しながらの商品開発と活躍に期待します。（日下）

■ 北成地区

簡易給水施設

鷹栖町民の多くがお世話になっている上水道。しかし北成地区では三角台配水池との標高差がなく、上水道を利用できなかつたため、昭和56年から簡易給水施設が活用されています。

利用者が13戸と少なくなつたものの今も大切な施設です。取水口の水不足を補うため自分たちで取水口を増やしたり、砂のろ過装置の洗浄をしたりと大変でした。

高齢世帯が多くなつた今、薬剤自動投入機の更新、増設取水口の整備、制御弁の更新、ろ過シート増設による洗浄作業の軽減は、利用者の方々に大変喜ばれていました。

整備にかかった費用は4446万円で、これからも大切に使用されていくものと思えます。（林川）

# 現地を確認!

総務文教・経済福祉常任委員会 合同町内所管事務調査

■ グループホーム  
「さゆり」

南2条1丁目に平成31年4月オープンした鷹栖共生会の施設。利用者一人ひとりの意思を大切にした一般家庭に近い環境で、小人数の利用者が地域社会と共に楽しく暮らしています。

日常生活全般（家事・食事・入浴・排泄・買い物・通院・相談等）の支援を世話人・生活支援員が行っています。

覚えやすく女性に優しい名前というのが「さゆり」の由来。今後も、個々が自立して生活できる施設として活用されていくことが期待されます。（大石）



■ コーディネーショントレーニング  
たかす円山幼稚園での実践を見学

鷹栖町全体で取り組んでいるコーディネーショントレーニング（COT）。その実践の様子をたかす円山幼稚園で見学しました。特徴的だったのが子供たちの笑顔です。

くねくね体操では見学している議員を遊びに誘い一緒に体験したり、追いかけてこのような遊びでは障害物の位置を子供たちが相談して決めたり、遊び環境をつくりかえていく対話的で柔軟な指導方針が垣間見えました。

園長は平成23年から実施する中で「子供たちが楽しみながら身体を使い、体幹が育っていく」という手ごたえを感じていました。

（川原）



一緒にコーディネーショントレーニングを体験！



■ プール改修！  
B&G海洋センター

北野地区にあるB&G海洋センターは昭和56年にオープン、昭和60年にB&G財団から無償譲渡されました。

昨年の観覧者等も含めた利用者数は2万人以上。スポーツ振興で重要な役割を果たしている施設です。

今回の主な改修箇所はプールで、鉄骨上屋、プール槽、外構フェンスなどです。総工事費8631万円、内2120万円にB&G修繕等助成事業助成金、残り6511万円に町債を充てています。

（桑原）

# 町内9カ所

■ 新人研修では

新人議員5名で町内施設10カ所の見学を行いました。

図書室における絵本の展示のこだわりや、郷土資料館の中に溢れる郷土愛。ごみ処理場ではごみを細かく分別する理由が見学することで実感できました。

すべての施設で学びがあり、そこで働く人の想いや苦労も感じることができました。この実感を議員活動の中で活かしていきたいと思えます。

（川原）



郷土資料館を見学中

6/12